

地震時等の電気火災を予防するために 感震ブレーカーを設置しましょう

～地震に備えて、感震ブレーカーを設置しましょう～

大きな地震が発生した際、電気に起因する火災が発生することがあります。特に、停電から電気が復旧した際に、地震で倒れた電気製品などから出火する「**通電火災**」には注意が必要です。こうした火災を防ぐために有効なのが、**感震ブレーカー**です。

感震ブレーカーは、地震発生時において既定以上の揺れを感知すると自動的に電気を遮断する機器です。地震による火災を防ぎ、あなたやご家族の命、そして大切な財産を守るためにも、ぜひ設置をご検討ください。

「いつ起こるかわからない」のが地震です。**いざというときの備えとして、感震ブレーカーを設置しましょう。**

※設置にあたっては、ご家庭の分電盤や電気設備に適した製品を選び、必要に応じて電気工事店等にご相談ください。

～感震ブレーカーは、大きく分けると次の4種類～

・分電盤タイプ（内蔵型）

分電盤に感震機能を組み込み、一定以上の揺れを感知すると電気を自動的に遮断します。**最も確実性が高く、住宅全体を対象にできる**のが特徴です。

・分電盤タイプ（後付け型）

既存の分電盤に感震機能を後付けするタイプです。分電盤の交換が不要な場合があり、比較的導入しやすいです。

・コンセントタイプ

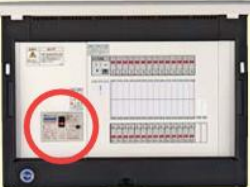
コンセントに取り付け、地震を感知するとそのコンセントからの電気を遮断します。**特定の電気機器だけを対象にしたい場合**に適しています。

・簡易タイプ（おもり式など）

地震の揺れを利用してブレーカーを落とす器具です。比較的安価で、自分で取り付けられるものもあります。

【感震ブレーカーの種類】

（総務省消防庁リーフレットより）

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付け型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

（注）住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

～感震ブレーカーの留意点～

地震の揺れを感知すると電気を遮断するため、照明や家電なども使用できなくなる場合があります。また医療機器など生命維持に関して電源供給が必要な機器への対策も事前に考えておく必要があります。

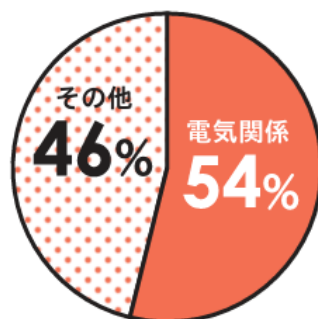
感震ブレーカーを設置しても、すべての地震火災を防げるわけではありません。家具の転倒防止や住宅用火災警報器など、他の防災対策も重要です。

製品によって仕組みや設置方法が異なるため、自宅の分電盤や電気設備に適合した製品を選ぶことが大切です。設置・交換は、製品の説明書や電気工事士などの専門家の指示に従う必要があります。電気が復旧した際に火災が発生する可能性があるため、避難前に電気器具の状態を確認し、可能であればブレーカーを切ることも重要です。

感震ブレーカーの設置が火災予防に効果的だよ！！

東日本大震災における本震火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうちの過半数が電気関係の出火によるものなんだ。

東日本大震災
における火災
の発生原因



※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災調査報告書より」



関連ページ

- ・ [総務省消防庁 感震ブレーカー](#)
- ・ [経済産業省](#)
- ・ [埼玉県危機管理防災部 危機管理課](#)



問い合わせ先

〒350-0441 埼玉県入間郡毛呂山町大字岩井2451

西入間広域消防組合消防本部予防課

電話:049-295-0163 ファックス:049-295-0239